



2025年 報道写真展



2026年1月10日(土)～4月19日(日)

会場 ニュースパーク(日本新聞博物館)2階企画展示室

開館時間 午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
休館日 月曜日(祝日・振替休日の場合は次の平日)
主催 ニュースパーク(日本新聞博物館)／東京写真記者協会
後援 神奈川県教育委員会／横浜市教育委員会／川崎市教育委員会
かながわ人づくり推進ネットワーク
協賛 キヤノンマーケティングジャパン株式会社
株式会社ニコンイメージングジャパン
ソニーマーケティング株式会社／株式会社山田商会

■ワールドシリーズMVP(写真上)

米大リーグ、ワールドシリーズで3勝を挙げたドジャース・山本由伸はMVPのトロフィーを掲げてチームメートの祝福を受ける
＝カナダ・トロント(11月2日 スポーツニッポン)

■シリア 絶望の収容所(5枚組)(写真中)

軍事情報部の秘密収容所「235支部」(通称・パレスチナ支部)。収容されていたというサレハ・ヤヒヤさんは、むちで打たれるなどの拷問を受けたという＝シリア・ダマスカス(2024年12月13日 朝日新聞)

■高市内閣組閣 記念撮影後の高市首相(写真下)

初閣議後の記念写真撮影を終え、笑顔を見せる高市早苗首相(中央手前)＝首相官邸(10月21日 東京新聞)

戦後80年となった2025年。世界ではウクライナ侵攻をはじめ戦禍が続きました。阪神・淡路大震災から30年の節目にもあたりますが、大船渡市の大火事など災害も相次ぎました。秋には高市早苗首相が就任、日本初の女性首相として注目されました。賛否が渦巻いた大阪万博には2500万人以上が訪れました。スポーツでは、米大リーグで日本人選手、中でも大谷翔平選手が連続MVP受賞と活躍する一方、「ミスター」長嶋茂雄さんが生涯を閉じました。

本展では、東京写真記者協会に加盟する新聞、通信、放送（NHK）33社の記者が2025年に撮影した報道写真の中から、政治・経済・社会・スポーツ・芸能など幅広いジャンルの決定的瞬間を捉えた約300点を展示します。

2025年 報道写真展

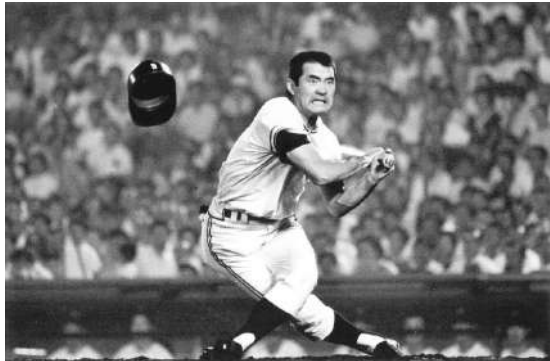
報道写真で振り返る



①国内最大級の山火事に襲われた岩手県大船渡市（5枚組）



⑤センバツ優勝！ マウンド上で躍動



②フルスイングが代名詞！



⑥名コンビ誕生！？ 日米首脳が米空母で演説



③万博がつないだ輪 課題乗り越えた祝祭（5枚組）



④備蓄米販売開始 売り場の買い物客

①国内最大級の山火事に襲われた岩手県大船渡市（5枚組）

炎が上がる山林をぼうぜんと見守る人たち
＝岩手県大船渡市（3月2日 読売新聞）

②フルスイングが代名詞！

豪快なフルスイングでヘルメットを飛ばした長嶋茂雄さん。空振りでも絵になる男だった
＝（1968年9月16日 サンケイスポーツ）

③万博がつないだ輪 課題乗り越えた祝祭（5枚組）

会場で公式キャラクター「ミャクミャク」と記念撮影をするファン。会期後半になるにつれ混雑し、来場予約も困難になった
＝大阪市此花区（5月13日 日本経済新聞）

④備蓄米販売開始 売り場の買い物客

政府が随意契約で放出した備蓄米を買い求める人々
＝東京都大田区（6月1日 共同通信）

⑤センバツ優勝！ マウンド上で躍動

センバツ甲子園で優勝を果たし、マウンド上で跳びはねて大喜ぶする横浜の選手たち
＝阪神甲子園球場（3月30日 報知新聞）

⑥名コンビ誕生！？ 日米首脳が米空母で演説

米原子力空母「ジョージ・ワシントン」の艦内で演説に臨むトランプ米大統領（右）と高市早苗首相。米兵の歓声に応える首相の振る舞いは議論を呼んだ
＝神奈川県横須賀市（10月28日 毎日新聞）

入館料（税込み）

一般＝400 円
大学生＝300 円
高校生＝200 円
中学生以下＝無料

アクセス

- みなとみらい線「日本大通り駅」3番出口（情文センター口）直結
- JR根岸線・横浜市営地下鉄「関内駅」徒歩10分
- 横浜市営バス・神奈川中央交通「日本大通り駅県庁前」徒歩1分
- 車で首都高速「横浜公園出口」から約3分

